

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	歴史的街並み保存活用事業			事業コード	2261
担当課等	所属名	商工観光部 ブランド推進課	担当係名		
	課長名	商工観光部 ブランド推進課	担当者名	菊池 郁	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	地域資源をいかした観光・物産の振興	コード 4
	基本事業	観光地づくりと観光客の誘致	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 7款 1項 3目 歴史的街並み保存活用事業 (010-02)	
	特記事項	総合計画主要事業, 新市建設計画事業				
事業期間	○ 単年度 ● 単年度繰返 ○ 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 17年度～)		
事務事業の概要	盛岡町家を中心とした歴史的街並み景観は、歴史的文化財であるとともに都市観光の推進のための大きな魅力となる要素を持っている。市民や観光客が盛岡の歴史文化と触れ合いながら楽しめる地域として積極的な活用を図ることができるように、歴史的街並みを保存活用するため、鉈屋町・大慈寺町界隈地域にある町家等の修景整備を行う。					
根拠法令等						
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
平成18年1月に策定した盛岡ブランド推進計画の中で、主要4プロジェクトの一つに「まちなみ景観づくり」を位置づけ、歴史的街並みの保存活用を図り、盛岡らしさがいかされた都市景観の創出を図り、文化性の高いまちとして歩いて楽しめる景観づくりを進めることとした。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
平成20年11月から12月にかけて実施した、歴史的な街並みの保存活用に向けた市民意向アンケートにおいて、71%が歴史的街並みを「積極的に活用すべき」23%が「ある程度保存活用すべき」と回答している。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
歴史的街並み整備補助金制度の周知を図っており、整備の推進が見込まれる。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	地域住民、公開イベントの際この地域を訪れる人	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 地域住民	単位	世帯
				B. 公開イベントの際地域を訪れる人	単位	人
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 盛岡まち並み塾と協働で町家開放事業を行なった。盛岡町家の整備に係る補助金を交付した。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 盛岡まち並み塾と協働で町家開放事業を行なう。盛岡町家の整備に係る補助金を交付する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 町家等の開放イベント	単位	回
				B. 町家等の修景整備	単位	棟
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	・地域住民は、歴史や伝統を伝えるまちに住むことへの誇りをもって暮らし続けるようになること。 ・歴史的街並みを持つこの地域を訪れる人は、盛岡が古からの城下町であることや水、先人、特産品に恵まれた住みよいまちであることを実感した訪れたいこと。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. この地区が好き、誇りに思う人々の割合 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	%
				B. 盛岡を住みよい町として訪れたいと思う人の割合 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	%
				C. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	訪れてみたいと思ってもらう	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	アンケート調査「盛岡に行って見たい、訪れてみたい」と思う割合(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	地域住民	世帯	529	529	529	529	529	529	27年度 529
対象 指標B	公開イベントの際地域を訪れる人	人	12000	20000	22000	20000	5000	20000	27年度 20000
対象 指標C									年度
活動 指標A	町家等の開放イベント	回	8	8	8	8	6	8	27年度 8
活動 指標B	町家等の修景整備	棟	1	4	4	5	4	4	27年度 5
活動 指標C									年度
成果 指標A	この地区が好き、誇りに思う人々の割合	%	50	55	55	55	55	55	27年度 60
成果 指標B	盛岡を住みよい町として訪れたいと思う人の割合	%	80	80	80	80	80	80	27年度 80
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	4,063	9,150	14,201	14,201	12,112	26,400	*****
財源 内訳	④国	千円	500	2,500	2,000	2,000	1,900	11,533	*****
	⑤県	千円		2,150	8,701	8,701	6,812		*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	3,563	4,500	3,500	3,500	3,400	14,867	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	4,063	9,150	14,201	14,201	12,112	26,400	*****
	延べ業務時間数	時間	500	800	800	800	800	800	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	2,000	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	6,063	12,350	17,401	17,401	15,312	29,600	*****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 歴史的街並みを整備することにより、盛岡のまちの魅力が増し、盛岡に訪れたいと思う人が増える。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 歴史的街並み保存活用について市民運動が活発であり、行政のサポートが求められている。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input checked="" type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由: 対象地域について拡大を検討する余地がある。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 市民が盛岡のまちに誇りをもつこと及び市外の方に盛岡に訪れたいと思ってもらうことが当該事業の目的である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 歴史的街並み整備事業補助金について周知し、早期に整備が進むように努める。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 当該地域の歴史的街並み保存活用については、市民の関心が高く、またメディアにも多く取り上げられ、大いに注目を集めており、事業の廃止・休止は施策の成果に悪影響を及ぼす。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: _____
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 現在の事業費では年間2~3棟の整備が可能であるが、最終的には50棟の整備を目標としており、事業費を削減することはできない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 整備についての説明会やイベント等の実施が必要であり、人件費を削減することはできない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 補助金の交付対象は限定されているが、歴史的街並み景観は市民共有の財産であり、また、街並み整備による来訪者の増加の影響は全市域に及ぶと考えられる。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 盛岡町家等の整備については、補助金の額よりも住民の費用負担が大きい。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 盛岡町家の整備を早期に進めるため、説明会を多く実施し、整備に係る補助金の交付件数を増やす。</p> <p>②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか? (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む) 景観や道路など当該地域の全体計画と一体で進める必要がある。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>街並み整備による盛岡町家への観光客の増加や市民活動によるイベント活動による市民の一体感の醸成など成果が現れている。街並み整備補助については建築に関する専門的知識が必要とされ、景観や道路など当該地域の全体計画と一体で進める必要がある。</p>										
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)									
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う									
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携									
												
	<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>景観や道路など当該地域の全体計画と一体で進める必要があり、専門的な知識が要求されることから、関係部署との連携について検討する。</p>											